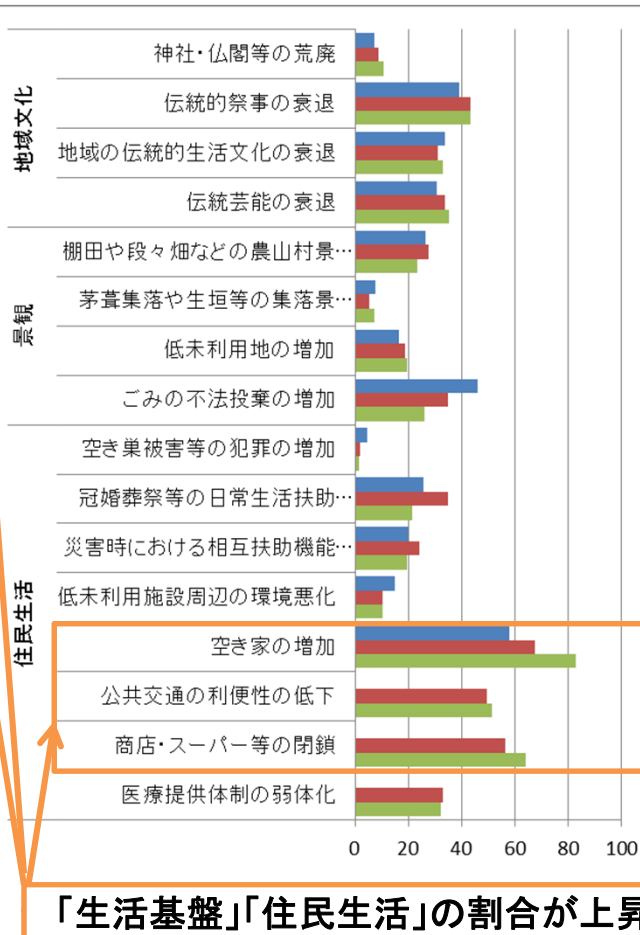
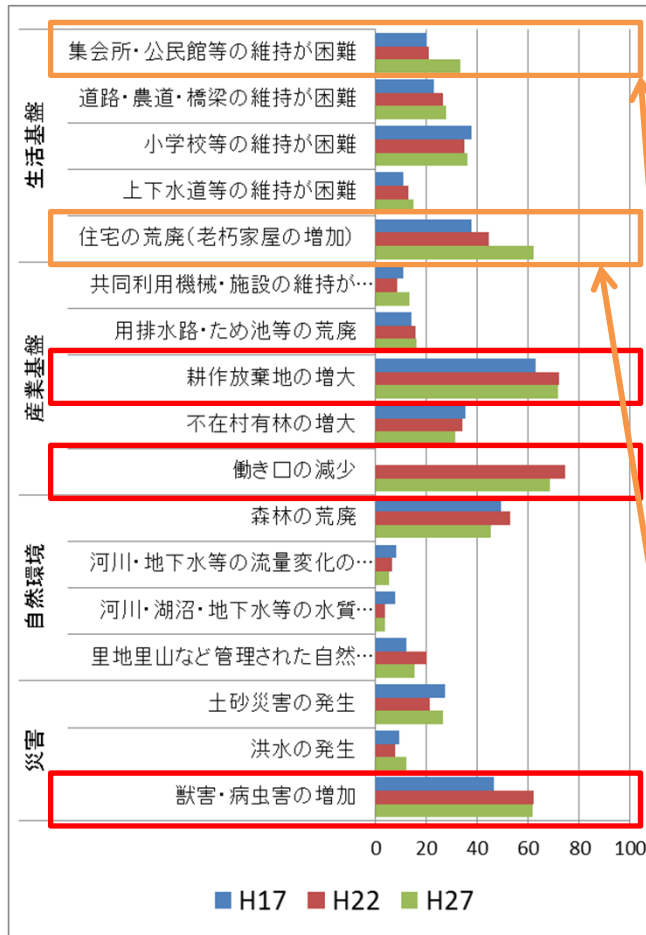


過疎地域等条件不利地域に所在する集落が直面する課題

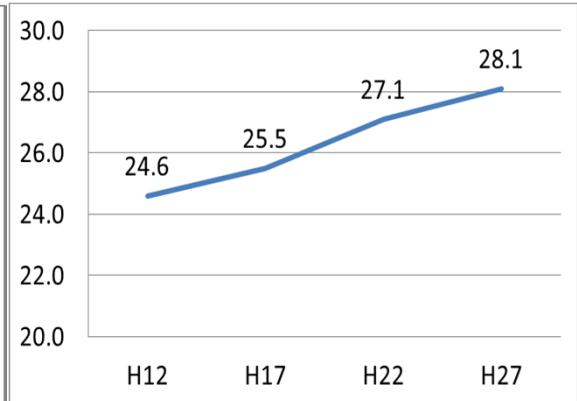
- 集落で発生している主な問題としては「耕作放棄地の拡大」「働き口の減少」「獣害・病虫害の増加」「空き家の増加」「商店・スーパー等の閉鎖」が挙げられているところ。
- 平成22年度調査では、「働き口の減少」の割合が最大だったが、平成27年度調査では「空き家の増加」の割合が最大になるなど、近年では「生活基盤」「住民生活」分野の問題が増加している。
- 集落の小規模化・高齢化の進展により、生活環境の維持が困難となっていることが要因として考えられる。

＜多くの集落で発生している問題や現象(割合)(複数回答)＞

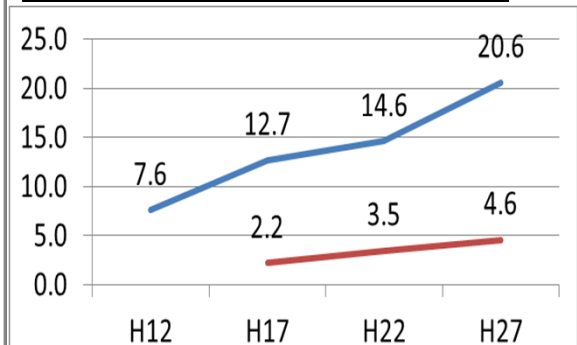


「生活基盤」「住民生活」の割合が上昇

＜人口50人未満の集落の割合＞



＜65歳以上(75歳以上)の高齢者の割合が50%以上の集落の割合＞



— 65歳以上の高齢者割合50%以上の集落

— 75歳以上の高齢者割合50%以上の集落

※「働き口の減少」「公共交通の利便性の低下」「商店・スーパー等の閉鎖」「医療提供体制の弱体化」は平成22年度から項目に追加。

「過疎地域等条件不利地域における集落の現況把握調査」(平成12年度・平成17年度・平成22年度・平成27年度)を参考に作成。